

成果の展開状況<成果3>

様式7

育成試験、またはシーズ			成果 3 (商品化/実用化/起業化)			
年度	課題名、または シーズ内容		研究者 (実施機関)	分類	内容	企業名
平成 13～14 年 度	育成 試験	「海洋深層水による藻類の培養及び利用技術に関する研究-海洋深層水による海藻の大量培養システムの開発」	大野正夫 (高知大学)	商品化	高知大学海洋生物教育研究センター大野教授は海洋深層水を用いて有用海藻(アオノリ)を安価で安定した生産を行う大量培養システムを開発。実用化のため平成 15 年度水産庁沿岸漁業構造改善事業に橋渡しを行い、室戸岬東漁協でアオノリの養殖施設を建設。現在、アオノリを販売中。	室戸岬東漁業協 同組合
平成 13～14 年 度	育成 試験	「微生物酵素による高β-グルカン含有真菌類の加工と定量に関する調査」	永田信治 (高知大学)	商品化	黒酵母アウレオバシジウムが生産するβ-グルカンは水溶性で免疫賦活作用を持っている。この機能性を有するβ-グルカンを利用したユズ酒、低アルコールリキュールを開発した。香りが良く、飲みやすいリキュール、アルコール度数(8度前後)。	高木酒造株式会 社
平成 16 年度	育成 試験	天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の研究」	森澤 純 (高知県 紙産業技術 センター)	商品化	魚類、生肉等の鮮度保持シート及び医療用介護シート等の製品化を目指して企業との共同研究を実施。平成 17 年 4 月より商品販売。商品名:「ととシート」(鮮度保	くじらハウス 株式会社

					持シート)、「よつばシート」(介護用シート)	
平成 16 年度	育成 試験	「天然物由来の加工薬品 を用いた紙・不織布加工技 術の研究」	森澤 純 (高知県 紙産業技術 センター)	商品化	レストラン、ファーストフード店から出る 廃油を分解菌シート「グリストラップ浄化 バイオシート」で分解、排水の浄化を行う。 カタログを作成、市場調査行うなど商品化 を進めている。商品名:「グリストラップ 浄化バイオシート」	(株)CPR ほか 2 社
平成 17 年度	育成 試験	黒潮圏に生息する有用酵 母の探索と新たな発酵食 品の開発	永田信治(高 知大学 教 授)	商品化	自然界からパン発酵に適した酵母を検索、パ ンの製造に利用、風味豊かなパンの製造、販 売	ペロリ
平成 13~14 年 度	育成 試験	「海洋深層水の食品への 利用技術の開発・膜分離に より成分調整された海洋 深層水の食品利用技術の 開発」	北村有里 (高知県工 業技術セン ター)	実用化	海洋深層水からのミネラル調整液を練り製 品製造工程の水さらし、塩ずり工程に利用、 脱水作業を容易にし、弾力を増強、高品質 化を図る技術。本技術を対象の練り製品業 者に普及中。	(株)けんかま、(有) 岡村蒲鉾ほか
平成 13 年度	育成 試験	「ナノダイヤモンド電子 エミッタの低温形成法の 開発」	平木昭夫 (高知工科 大学)	実用化	低温度(室温レベル)で作成したダイヤモ ンド薄膜を電子エミッターとして、光源と して利用する。液晶表示板等のバックライ トのほか、一般の蛍光灯に代わる無水銀の 次世代発光光源として高知ダイヤライト研 究所が高輝度照明部品を開発中。	(株)高知ダイヤラ イト研究所
平成 13 年度	育成 試験	「3次元画像の情報圧 縮・超軽量化技術の開発」	畠中兼司 (高知工科 大学)	実用化	観光地の風景で360度すべての景観映像を ビデオカメラにより実写する。この膨大な 映像情報を3次元圧縮処理技術によって圧 縮蓄積し、案内表示板(携帯電話やパソコ	(株)コンピュータ イメージ研究所

					ン画面) 上に、観光客が見たい方向の風景が自動的に出てくるシステム。	
平成 14 年度	育成 試験	「転倒防止した全方向へ移動可能な自立歩行訓練機」	王硯玉 (高知工科大学)	実用化	全方向移動可能な歩行訓練機の基本技術を開発。現在、(株)相愛を中心に医療、福祉、機械開発のプロジェクトチームを編成、実用化、商品化を進めている。国の補助事業を活用、訓練機を試作し、モニター試験を行っている。	(株)相愛
平成 13 年度	育成 試験	「便座と車椅子間の回旋乗式自動介助装置の開発」	横川明 (高知工科大学)	実用化	平成 13 年度に左記の課題で研究開発を行い、その中で介護を要する福祉高齢者向きに「立ち上がりイス」の開発を行った。現在、ツカサ重機(株)、オリバー、工科大の 3 者で製品化を進めている。既にデモ機を試作しており、コストと市場調査を行う予定。	ツカサ重機(株) 所在地: 高知市長 浜 5033-21 オリバー
15 年度	育成 試験	「食事摂取量を画像処理により自動計測し最適給食を可能とする高機能療養システムの開発」	竹田史章 (高知工科大学)	実用化	病院入院患者の食事摂取量を画像処理により自動計測、最適給食を可能とする高機能療養システムを開発、装置の販売を行う。現在、デモ機を試作、テスト中。	(株)ニューラルシステムズ
15 年度	育成 試験	「激増するアユ、サケ科魚類の冷水病対策経口ワクチンの開発」	大嶋俊一郎 (高知大学)	実用化	サケ・マス冷水病経口ワクチンの実用化。アユならびにサケ科魚類で世界的に問題になっている冷水病に対する実用的で有効性の高い経口ワクチンの開発。	川崎三鷹製薬(株)
15 年度	育成 試験	「模様修飾した水流交絡法による次世代不織布の開発」	田村愛理 (高知県紙産業技術センター)	実用化	水流交絡法による模様修飾した不織布の製造方法の開発。従来の水流交絡法不織布製造工程内で簡便に模様修飾を施すことが出来る技術を開発。	不織布メーカー

14 年度	育成 試験	「データ駆動型超高速ネットワークプロセッサの高機能化に関する調査研究」	岩田 誠 (高知工科大学)	実用化	独立同期データ駆動型省電力・超高速ネットワークプロセッサ技術を活用し、超高速パケットフィルターを開発、パソコン等の省電力化、高速化をはかる。	シャープ
平成 13 年度	育成 試験	「高耐震性建築鉄骨製作法に関する調査」	内田昌克 (高知大学 地域共同研究センター)	起業化	代表取締役；内田昌克、高知市口細山、設立；平成 15 年 1 月 6 日、資本金；2,000 万円。建築鉄骨等について特許工法を普及させる。建築鉄骨製作の品質管理、技術指導等。特許工法の認定・更新業務、建築構造物関係の問題処理を行う。	(株)アークリエイト
平成 15 年度	シーズ	大学等が保有または開発する先端技術、及び大学の知識、情報の活用並びに貨幣、紙幣の選別技術	竹田史章 (高知工科大学)	起業化	代表取締役；松本高、姫路市三佐衛門堀西の町、設立；平成 15 年 4 月 23 日、資本金；1,000 万円。貨幣、紙幣の選別技術などの大学等が保有・開発する先端技術を産業界へ仲介、斡旋及び開拓支援する。	(株)ニューラルシステムズ
平成 13 年度	育成 試験	「藻多糖と廃パルプを利用した簡易浄水剤の開発」	向畑恭男 (高知工科大学)	起業化	代表取締役；向畑恭男、高知市一宮、設立；平成 15 年 3 月 3 日、資本金；300 万円。ンブン、コンニャク等の多糖類の生産方式及び用途開発に関する 特許・実用新案・ノウハウの情報提供サービス業。	(有)日本エコロノミックス

平成 14 年度	育成 試験	「転倒防止できる全方向 移動型歩行訓練機」	王 碩玉 (高知工科 大学)	起業化	代表取締役；王 碩玉、高知市宝永町、設 立；平成 15 年 3 月 12 日、資本金；300 万 円。自動制御、ロボット、福祉機器に関す る研究及びノウハウの提供。	(有)ヒューマン テクノロジー研 究所
平成 16 年度	育成 試験	平成 13 年度RSP育成試験 から発展した新会社の設 立。社長:羽場方紀	平木昭夫 (高知工科 大学)	起業化	エミッターランプの開発研究、製造、販売を行 う企業。H16.4.5 設立。 資本金 1000 万円 主要株主:明響社 40%、 藤井金属工業 20% 本社所在地:大阪府豊 中市岡町 2-5	(株)ダイヤライト ジャパン
平成 17 年度	育成 試験	平成 15 年度;「食餌摂取量 を画像処理により自動計測 し最適給食を可能とする高 機能療養システムの開発」 平成 17 年度;「高速自動いり こ選別システムの開発」	竹田史章 (高知工科 大学)	起業化	パターン認識技術を応用して、物体(体型、 顔、指紋、米もみ、魚、料理など)や模様(紙 幣、貨幣など)、物理量(音声や騒音ほか)を 判定、区別、選別、状況判定に利用する技術 開発を行い、技術・ノウハウの販売を行う。 H17.11.9 設立。資本金 300 万円 本社所在地:高知県香美郡土佐山田町宮ノ 口 185 高知工科大学内	有限会社 知能シ ステム開発